今月の輝きビト☆
The one who shines



つくるって楽しい

福島　榮二さん（御堂）

私の趣味は、木彫りでものづくりをすることと、風車を作ることです。

木彫りでは、これまで多くの作品を手掛けてきました。私の作品は村内のさまざまな場所で見ることができ、白石キャンプ村の看板や村内企業の看板、住所の表札などに使われています。

最近では、風車作りも始めました。今年の夏から作り始めたアルミ缶を使った飾り用の風車や、ペットボトルを使った畑や田んぼ用の風車は、これまでに約２００個に上ります。ご近所の方や知人にも好評で、ブルーベリーの木が多く植えられている村内では、鳥よけとして使ってもらえるよう、たくさんの風車を差し上げました。畑や田んぼだけでなく、風通しの良い居間などに飾ると、風を受けてくるくると回る様子が美しく、見ているだけでも心が和みます。

私が風車作りを始めたきっかけは、知人の家を訪れた際、手作りの風車が飾られているのを見たことでした。「これなら自分でも作れるかもしれない」と思い、挑戦することにしました。自分の手で作ったものが形になり、周りの方々にも喜んでもらえることが、ものづくりの楽しみの一つです。

怠らないという努力



私はこれまで、さまざまな企業に勤務してきました。最初に勤めた機械製造会社では約37年間、レコードプレーヤーやテープレコーダー、自動販売機などの製造に携わりました。その後、自動車部品の製作所へ転職し、約10年間、精密な作業を通じて品質の高い部品づくりに努めてきました。

どちらの職場でも、課題を見つけ、解決策を考え、実践することを大切にしてきました。

一般企業を退職後は、道の駅和紙の里ひがしちちぶの支配人として約11年間勤務しました。これまで培ってきた経験を生かし、最後は自分が暮らす村のために働きたいという思いから、道の駅の運営や地域の活性化に向け、課題解決に力を注いできました。